

平成 24 年度 食育フェスタ実行委員会（臨時）

1. 日 時 平成 24 年 9 月 13 日（木曜日） 午後 3 時～5 時

2. 会 場 八王子市保健所 別館 1 階

3. 出席

【委 員】

【行 政】長田京美（子ども家庭部子育て支援課保育園）、田上今日子、老野生祐子（健康福祉部保健総務課）、原麻岐（学校教育部学事課）

【オブザーバー】

【事 務 局】木内雅彦（健康福祉部生活衛生課長）、廣瀬重美、加納亜友美、横山りえ（生活衛生課保健栄養担当）

4. 欠席

【委 員】

5. 次第及び議事内容

- ①「ぬかづけマン」ショーの中止について
- ②ちらし等の内容確認について
- ③新規出展団体の出展内容の確認について

1) 議事 1「ぬかづけマン」ショーの中止について

【事務局より経過説明】

前回の実行委員会にて多数決により出演依頼が決定した、エルシー電気（仲介者）からの持ち込み企画「ぬかづけマン」ショーについて、事務局担当者から仲介者に正式に出演依頼したところ、出演者側（よしもとタレント側）より報酬の変更を要望された。当初の出演料 交通費 だったものを出演料 と交通費 合計 の変更とのことだった。報酬も含めた結果依頼することに決定したという経緯がある他、限られた予算の中でさらに捻出するのは難しいと判断したところ、仲介者も辞退したいとしたため、事務局と委員長と協議した上、他の企画物もあるため開催について問題はないとして、中止にすることにした。

【出演見送りについて】

一同により承認された。

2) 議事2 ちらし等の内容確認について

【事務局から説明】

フェスタPR用ちらし、ポスター（*資料1：ちらし両面案、ポスターA2、A3案）について、本体のデザイン等、ちらし配布、スタンプラリーのご意見を頂きたい。

①ちらし、ポスターデザインについて：前回の委員会でご意見があったところを事務局で修正。皆さんからさらに意見をお願いしたい。

②ちらしの配布について：配布先については、前回でも提案させていただきましたが、当初は保育園、幼稚園、小中学校について、全園児、児童、生徒配布予定でしたが、前回フェスタ来場者の結果から保育園幼稚園については、会場周辺の園のみ全児童配布、その他についてはポスターとちらしを送付することになっている。しかし、フェスタ参加の園については全児童配布対象としている。

③スタンプラリーについて：スタンプの図柄、スタンプの分割、スタンプを置く場所などおはかりいただきたい。

【主な質疑応答】

意見①：ポスターの真ん中の空いている部分はどうなるのか？

意見②：ポスター全面の部分に臨時催し物の時間が出ていない。

事務局：ポスターの空いている部分は違うものが入る予定。催しものの時間は掲載して修正する予定。

議事進行：ちらし、ポスターについては他に意見がなければ、よろしいか

※一同により承認された。

ちらし、ポスター配布について事務局提案でよいか？

※一同により承認された。

スタンプラリーの4分割にするか6分割にするかという点はどうか？

意見③：スタンプラリーのスタンプ分割は多い方がまわってもらえるのではないか？

意見④：来場者の楽しみなので、多い方がいい。

議事進行：多い方がよいと意見が多いが6分割でよいか？

※一同により承認された。

3) 議事3 新規出展団体の出展内容の確認について

【事務局より今までの経緯を説明】

今回新規出展団体である「ハカルワカル広場」とのこれまでの経緯を委員に説明。フェスタ会場での放射能測定デモンストレーションの実施について、申込み当初から事務局としては様々な要因を考慮しデモは難しいと、新規出展説明会の際も活動報告や測定についての紹介（パンフ配布等）をお願いしたが、再度、団体からデモ実施の要望を強く受けたため、ハカルワカル広場に出向き詳しい状況やこちらの内容を話し、持ち帰り検討するとした。今回の委員会では、こちらの条件提示等を行った上、デモンストレーションを行うことについて、委員の皆さんに検討して頂くため臨時的委員会を開催した。

議事進行：この委員会では、あまり細かいくくりをしないところで、委員の皆さんの良識を持ってフェスタの運営について話し合いを持って進めてきたところだが、今回の提案についていかがか。

意見①：当日市民が持ち込んだものを測るのはできないという条件をつけるのはどうか。農業祭で売っているものを持ち込んで測るのは、ルール違反である。

意見②：測定ではなく、様々な測定器を展示（紹介）したらどうか。データ等を開示してもらい、測定をする場合は、団体の実施している測定室の紹介をしたらよいのではないか。測定はデモであったとしても来場者の中では、十分理解できない人はパニックになるんじゃないか。

意見③：市民のための活動を行っていることは十分理解できるが、公の検査機関ではないことは確かなので、食育フェスタに出ているということでお墨付きという風に勘違いする人が出てくるのではないか。大勢の人が来る中で、全員が理解してもらえるよう説明は不可能。団体が責任を取ると言っているが、とても一団体が責任を取れる問題ではなく実行委員会にもリスクが大きい。農業祭で購入した野菜を測定してほしいと持込む来場者は必ずいると思われる。

意見④：出展団体の中には地産地消をテーマに出展されているところもあり、仮に地場野菜で数値が出てしまった場合、影響が出る。もし仮に悪い数値が出てしまった場合ではあるが、後から公の第3者機関で測定し直して大丈夫でしたと言っても消えることがない。そのような問題も考慮すべき。

意見⑤：データを発表すればよいのではないか。土壌を測るとあるが、それでは食育ではなく環境ではないのか。食品からは出るわけがないと団体では決めつけているがどうなのか。

事務局：被災地の土壌には影響が残っているが、食品には移行していないというデータを持っているので、そのようなデータの公表を望みたいが、（食品）測定して、まったく出ないかという点については苦慮しているところである。

意見⑥：どうして団体はデモンストレーションにこだわるのか？団体の活動報告や機械の説明だけでも有意義ではないか？

事務局：実際目で見える方が来場者にもインパクトがあるので実施したいという意向。条件としてJA農業祭の農作物とかぶらないようにやるとも言っている。

意見⑦：JA等が当日持ち込む食材はこの季節に入手できる食材であり、これを除く食材での測定は考えられない。条件づけができないのではないか。

意見⑧：デモをやった場合悪い結果が出た場合も考えた方がいい。絶対出ないとか大丈夫だろうとして実施した場合、後から大変なことになる。何か起こったら責任は取れないのではないか。最終的に団体が実行委員会や公などに責任を押し付ける形になるようでは、実行委員会としては責任が取れない。

議事進行：皆さんの出た意見を総合し、団体の日ごろの活動報告の内容はよいが、実際に測定器で測るデモンストレーションはご遠慮して頂くということでよいか。

事務局：もしデモでも、食品等の何を測っているかや出た数値を伏せてもらうというような、やっているという形を見せたいという団体の意向だけをとる手段はどうか？

意見⑨：どのような形をとったとしても団体は理解を示さないだろうが、あくまでも委員会としては、食育推進計画を軸とした食育フェスタの開催運営をしているので、市民の不安を少しでも講じるような内容のデモは認められないとした方がよい。知識がないなどと言われるだろうが、冷静に対応すべき。

議事進行：ハカルワカル広場の団体活動を否定するわけではないが、食育フェスタ参加内容としては、放射能測定のデモンストレーションは外れるということをこの実行委員会で確認し、団体に報告するというのでよいか。

※一同により承認された。

事務局：実行委員会に諮った結果を後日団体に回答します。

4) その他

次回の実行委員会は10月12日としていましたが、今回の件を含め、ちらし、ポスターの印刷が延期となるため、後日事務局より連絡する。